

令和2年度  
第2回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：令和3年3月26日（金）

場所：朝日庁舎 大会議室

令和2年度 第2回 朝日地域振興懇談会会議録 (概要)

- 日 時 : 令和3年3月26日(金) 13時30分から15時30分まで
- 会 場 : 朝日庁舎 大会議室
- 出席委員 : 佐藤清、難波久男、菅原正成、難波智明、渡部巖、渡部昌樹、  
工藤悦夫、菅原明美、難波金一 計9名
- 欠席委員 : 佐藤清四郎、亀井栄一、小野寺太、清野定信、小野寺信子、清野一女
- 市側出席職員  
【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、  
総務企画課 佐藤地域まちづくり企画調整主査、工藤専門員  
【本所】企画部地域振興課 本間地域振興専門員 計7名

一次 第一

1. 開 会

2. あいさつ

工藤会長あいさつ

朝日庁舎土田支所長あいさつ

3. 協議

(1) 朝日地域まちづくり未来計画について

(2) 令和3年度予算 朝日庁舎主要事業について

4. その他

5. 閉 会

1. 開 会 13時30分 (進行 総務企画課長)

2. あいさつ

①工藤会長

委員の皆さんには、年度末で様々お忙しい中お集り頂き感謝する。今年度は新型コロナウイルス関係で各種事業が中止になった。冬になってようやく落ち着いてきてできた部分もある。このような状況でどこを見ても明るい話題がないが、この懇談会では、委員の皆さんから、少しでも明るい兆しが見えるような話題を出して頂いて、会議を盛り上げて頂きたい。

②朝日庁舎支所長

3. 協 議

会長 それでは協議 (1) について事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

会長 ただ今事務局から説明がありました。これらについて皆様から質問、意見頂きたいと思えます。よろしくお願いします。

委員 高校生通学支援について、今年は中学3年生の保護者に知らせたという事だったが、定期券の準備はお知らせより早く検討しているという経緯があるので、早めの情報提供をお願いしたい。また、「若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト」の具体的な内容についてイメージなどはあるか。

総務企画課長 高校生通学支援について、温海・朝日地域に限って昨年度から行っているが、まだ周知不足で制度の内容が広まっていない部分があるので、来年度に向けて整理検討したいと思う。一番は使っている方や使いたい方への口コミが有効だと思うので、PTAなどの集まりの機会に話題にして頂けるとありがたい。

若者語らいの場ありのまま未来プロジェクトについて、中央コミセンの事業ということで、来年度以降、市の未来事業も活用して行っていく。行政側としても昔のような青年団などの活動が無い中で、若者のネットワークづくりが必要だという認識は持っていたので、中央コミセンのこういった活動を講師謝金などの部分で支援していくというもの。

副会長 奨学金制度について、朝日地域では村時代からの経緯があるが、従来通り継続していると思う。高校生通学支援の良い制度についても周知がまだという意見もあるが、奨学金についても知らない人が多い。返済の免除なども話題となっていると思うので地域内での状況を分かる範囲で説明願いたい。

総務企画課長 手元に資料がなく、詳しい説明はできないが、奨学金の返納を免除する制度について、検討をしている状況と聞いている。

副会長 玄関前除雪について、今年度で終わるのかなと思っていたが、引き続き取り組んでもらえるようだ。前回の懇談会でも言ったが、もう少し使い勝手の良い、適用範囲が広い使い方ができる制度にならないかと思っている。コミセンでも社会福祉協議

- 会とも連携しながら玄関前除雪事業と似たような取り組みを目指して、今年度は5つのチームが活動した。頼む方も気兼ねなく使ってもらえるように、個人的なやり取りではなく、頼む方も頼まれる方も登録制にし、頼む方から登録料をもらい、ボランティアではなくちゃんと報酬を出すなど支援の在り方を検討してもらいたい。
- 総務企画課長 玄関前除雪について枠組みを考えたとき、きっかけづくりとして、地域まちづくり未来事業が持続的な事業として展開することが最終的な目標としてある中で、地域内の除雪機が自走可能なエリア、運搬などが必要ない範囲・仕組みを考えた。現状では、ボランティアという事で報酬は出しておらず、機械除雪したとき、他人の家を壊してしまったという事に備えて保険をかけている。今後も実証実験を行いながら見直しを掛けていき、持続可能な良い制度にしていきたい。
- 支所長 先ほどの奨学金貸付の件について、旧朝日村では、平成6年度から事業を行っており、東田川電気事業組合（東北電力）からの資金協力を得て、東田川郡全ての町村で開始している。制度自体は町村でそれぞれ違い、朝日村では大学月額4万円、高校生月額1万5千円となっており、高校生への支給があるのは温海と朝日だけである。現在の貸し付けはトータルで20名、令和2年度は1名となっていて、他の町村では一けたになっている。日本学生支援機構の貸付要件と同じになったことから、独自の事業を継続する意味が薄れてきており、貸付制度は廃止を考えている。
- 委員 3月議会において、新規事業で目的的な施策となっているのは、Uターン者への奨学金残高の返済支援が令和3年度から開始される。県でも同様の制度があり、それに上乘せするようだが、詳しい話はこれから周知なると思う。
- 委員 今年雪が前半かなり多かったので、皆さんも雪下ろしや雪ぬけが大変だったと思う。玄関前除雪は良い制度だと思うので継続してもらいたい。また、雪下ろしの助成制度について、市全体に適用になるようだが、ますます高齢化が進むと利用する人が増えると思う。対象が住居のみという事だが、田舎の方に行くと住居以外にも車庫や倉などがあるので、対象となるような制度にしてもらいたい。
- 市民福祉課長 雪下ろしの助成について、全市統一の制度として、非課税家庭に対して1回1万6千円を上限に助成するものである。住宅だけが対象であり、車庫などは対象とならないが、これは住んでいる人の生命を守るという意味で住居のみが対象になっている。ただ、雪が多い朝日や温海で車庫倉庫も補助対象としてもらいたいというご意見があるので、本所担当課と相談しながら拡大できるものか検討していきたい。
- 会長 雪に関連して、除雪パートナーズ事業があるが、その事業が無くなるという噂があるがどうなるのか。今集落等で持っている除雪機が譲渡するという話もあるので、分かる範囲で状況を説明してもらいたい。
- 支所長 パートナーズ事業自体が無くなるという話は決まった事ではない。自治振興会運営協議会で出た話として、ほとんど使っていない集落で維持費だけがかかって大変なので、事業をやめて廃車にしたいというご意見があるが、補助金をもらっている事業なので10年など補助金の期限が過ぎるまでは廃車などは難しい、補助金返還になるという話になるので、その期間は使ってくれという話をしている。ただ、1台当たり3万円を上限にしているので、当初は良かったが、最近では除雪機も古くなり、高額な修繕費用が掛かるようになってきたので、自前で負担金を払わないと維

- 持できない状況もあって相談を受けていた。現在は朝日地域全体の予算で修繕をしたり、足りなくなったら集金をするなどの対応をしている。
- 会長 機会が古くなっていて、一回修理すると10万円以上かかる事が多いので、何台も出てくると予算が足りなくなるので、地元がお金を払って直しているのそのあたりは理解している。
- 支所長 会議の中では、3万円を例えば5万円にしてもらいたいとか新しい除雪機を交付してもらいたいという要望も出ていたが、要望にお応えするのは難しいと回答している。今ある機械を修理しながら事業を進めていく。たくさん利用している集落は継続してもらいたい、ほとんど使わない集落はやめたいと温度差があるようなので、自治振興会連絡協議会やコミセンとして一括管理するのが良いのか、各集落に譲渡して管理してもらうのが良いのか検討していきたい。
- 委員 雪下ろしの助成について、単独で行っても意味がないので、地域内交通などと組み合わせ考えていけないか。下した雪も、排雪する場合もあると思うので、それにも費用が掛かる。また、朝日地域の田では、まだ雪が多く残っていて、それを消す助成もあるが、重機を使わなければならない。朝日のような豪雪地と平場の状況は違うのではないか。
- 別の話でサルの子だが、雪が消えたところを見計らって雪の下になっていたネギを食われたという話があった。サルは賢く、人がいないお昼休みを狙っている。市では猟友会に見回りを委託しているので電話してくれというが、電話して到着するまでの間で荒らして、次の集落に行ってしまう。また、キノコだと、収穫直前の物をサルが根こそぎ食べてしまう。市では電気柵や網などをしてはられないようにというが、柵用に立ててある棒を使って中に入ってしまう。
- それを防ぐため、他地域では、サルに発信機を付け、サルが接近したことを知らせる装置が便利だということで、装置と若い人に狩猟免許を取らせることにお金を出して守ってもらっている所もあるようだ。大針の場合は、狩猟免許を持っている人が高齢で辞めてしまっている。もう10年は農業をやりたいと考えているので、装置を買う補助などを行ってもらえば地区として農地を守っていけるのではないかと思う。
- 産業建設課長 鳥獣被害について、サルや猪の食害が朝日地域でも出てきている。前回の時に福井市でモデルガンを用いた鳥獣追払いに使うといった新聞記事をもらい、そういったものに市として補助ができないか検討している。福井市の事例では、銃の免許がない人でも使えるモデルガンで追払いを行っている。また、富山市の事例では、市が1/2補助を出して、集落でモデルガンを使った追払いを行っており、地域ぐるみで対策をするのが有効だと聞いた。鶴岡市の制度でも、モデルガンに使用できないという訳ではないので利用してもらいたい、富山市の事例のように1丁ではなく、地域ぐるみで追払いを行うなど効果がある使い方をしてもらいたい。電気柵などの要望を毎年7月くらいに自治会長さんにご案内するので内容についてご相談頂きたい。サルの発信機について、電池の関係で2年くらいしか持たない。付け替えるためには、サルを捕まえて麻酔を打つという作業が必要となる。市では3頭位に取り付けているが、春にそのサルが亡くなって動かなくなるなど課題が多いので、モ

- デルガンなどの他の対策と合わせてやっていきたい。
- 委員 スキー場の件で、予算がついているようだが、状況など分かれば説明願いたい。
- 産業建設課長 道の駅と朝日自然体験施設という事で1億3千万円程度の予算がついている。スキー場について、第2リフトは平成30年度に老朽化によって廃止になったが、昨年度、どうしても復活させてほしいという強い要望でスキー学校やスキー関係者などによる検討委員会を4回ほど開催し、その結果を受けて予算要求を行った。整備内容については、第3リフトを再利用して既存の第2リフトより少し延長を伸ばして整備する予定である。令和3年度は、主に工場での部品の制作と、古い第2リフトの撤去を行い、令和4年度に新しいリフトの建設を進め、令和4年12月から供用する予定。
- 委員 湯殿山神社について、出羽三山の羽黒山などと比べると交通の便が悪いと思う。日本遺産などになっている訳なので、観光協会を中心に、もう少し湯殿山神社を盛り上げていければと思う。
- 産業建設課長 湯殿山は、丑年ご縁年ということで、たくさんお客様がくる年なので、羽黒庁舎とも連携しながら進めていきたい。2次交通については、市営バスを含め羽黒山から湯殿山につなぐ路線を作ってはという話もあり検討しているが、採算性などの問題で難しいところもあるので、観光物産課を含めて市全体で検討していきたい。
- 委員 交流の里おおあみづくり支援事業という事で、まちづくり未来事業としての計画をもう少し説明できるものがあればお聞きしたい。
- また、産直施設の在り方検討という文言があるが、方向性や内容について、今説明できる段階で良いので、もう少し説明をしてもらいたい。
- 総務企画課長 1点目の交流の里おおあみづくり支援事業について、令和2年度まで国の地方創生推進交付金を利用し行ってきた小さな拠点づくり推進事業は、3年間の事業期間が完了という事になった。ただ、コロナ禍で交流活動が十分にできなかった部分もあった。市としても大網地区地域デザインを策定して、地域づくりに向けた活動を支援してきたが、まだ未達成の部分もあるので、令和3年度も継続して地元の活動を支援していくという計画である。
- 産業建設課長 産直施設の在り方について、施設の老朽化によって、大雪によって雨漏りするなど運営側の組合に迷惑をかけてしまった。未来事業と別に施設の屋根の葺き替えなど修繕を行いながら、施設の耐久力について、建築士に見てもらおうというもの。産直施設としては、小ロットでも販売できたり、食堂に多くの方からおいで頂いたりなど、朝日地域に無くてはならない施設なので、これからどのように継続できるか考えていく。運営側の組合も高齢化が進んでいるので、新しい組合員の獲得などの部分も含めて取り組んでいきたい。
- 委員 産直あさひグーは、国道沿いという事もあって多くの来場者があり、また、生産者にとっても大切な施設なので、これからずっと繁栄させられればと思う。
- 委員 今年はず雪が多かったが、除雪が良かったと思う。朝日地域では当たり前だが、市内の方に言わせると朝日は良いと言われる。庁舎の方には大変ご苦労したと思う。感謝申し上げたい。
- 1つ目、庁舎に配分された1千万円の枠について、旧町村での割合はどのような内

訳になっているのか。

2つ目に、過疎に関する特別地方交付税交付金ほどのくらい収入があつて、一般財源として、どのくらい朝日独特の事業に充当されているのか。それから以前はあつた水力発電活性化交付金はなくなったのか。

3つ目に、農業振興の記載が多くあるが、朝日の定住条件を考える中で、産業振興、働き場の確保についての取り組みについてお聞きしたい。

4つ目に、来年度の予算の中で、本所所管ではあるが過疎対策推進事業という事で地方創生推進交付金を受けながらビジョンを策定するようだが、具体的な内容を説明願いたい。なぜ過疎の温海・朝日ではなく、本所所管なのか。全市的に同時進行で進めるということか。

総務企画課長

1点目の小規模修繕について、各庁舎一律で1千万円になっている。固定した修繕ではなく、緊急的なものにも臨機応変に対応できるように一部の500万円は枠として確保している。

2点目の特別交付税については、財源的な話であり資料を持ち合わせていない。電源立地地域対策事業について、鶴岡市を対象に交付されており、令和2年度は消防施設整備事業に充当していると財政課から聞いている。発電施設がある市町村への交付という事で財源の一つとして、朝日・温海に限らず、全市的に活用している。

3点目と4点目について、過疎対策推進事業については、全市的な取り組みの一つとなっている。昨年から大泉地区、大針地区に人口予測シミュレーション等を大学の先生に依頼し研修会等を実施した。温海地域や鶴岡地域の沿岸部など市内全域を対象に研修会を行っており、令和3年度についても朝日地域を含めて全体的な予算という事で本所所管となっている。

集落対策支援事業については、朝日地域、温海地域に集落支援員を配置している。集落支援員の予算は本所所管となるが、朝日地域の1名も含まれる。

産業建設課長

2番目の働き場について、朝日地域独自の政策支援は無い状態である。どうしても市全体の取り組みとなり、中小企業の新しい取り組みに関する補助について、国・県・市独自など様々な方法で支援を行っている。

委員

朝日地域だけの特別な行政施策ができるわけでないが、過疎ということで一般と違い、住民の力だけ、あるいは市だけではできない部分を交付税として補填されている訳なので、合併してから15年という事もあるが、できるだけ朝日・温海ならではの部分に配分してもらいたい。また、水力発電交付金についても、例えば消火栓ホースの更新であっても地域が広く点在しているため、自治会等で負担するには大きい。ぜひ消火栓BOXを含めて、特定財源を有効に充当できるような地域配分をお願いしたい。

会長

大鳥地内のニノ俣林道の関係について、昨年夏に崩落して通行止めになっている。予算はあつても行けるようにしてもらわないと事業を何もできない。開通の予定は分かるか。

産業建設課長

昨年の大雨の時に発生した市道桧原線の崩落だと思うが、市土木課と県の土木担当と協議をした。まだ現場に行けず雪解け後の状況がまだ分からないが、法面の上に大きな岩があつたものが雪解けで落ちたかどうかを確認しながら、法面を県で修繕

し、その後、道路は市で修繕することになっている。雪解けの状況を見ながら、迅速に工事ができるようにしたい。

会長 それでは協議（2）について事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

会長 ただ今事務局から説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問を頂きたいと思えます。いかがでしょうか。

委員 1つ目に、e-でネットの関係について、内訳を聞きたい。  
2つ目に、高齢化が進む中で担い手の育成が課題となっている。おたがいさまという事で受け手だけでなく、担い手育成のムード作りについて、庁舎内で検討をお願いしたい。農地の荒廃や農道、水路の管理などの担い手についても同様に考えていく必要がある。

総務企画課長 内訳について、収入の4213万円については、利用者からの利用料が約3,900万円で、その他、NTTへの芯線（光回線）の貸付等を含めた金額の計上になっている。一方で支出については、保守管理の委託料、使用料、修繕料、手数料等で5,345万円となっている。

関連して、前回提案したインターネットの民間移行の状況について報告する。榊引地域から順次民間サービスが提供されており、10月1日現在で朝日466件、榊引539件、合計1,005件の加入者であったが、令和3年3月22日現在で、朝日467件、榊引219件（302件減少）となり、682件となっており、順調に民間移行が進んでいると推測される。朝日地域でも令和3年度から光回線の敷設が予定されているとのことで、令和4年度中には民間サービスが開始される計画とのこと。事業者からの情報提供あり次第、お知らせしていきたい。

委員 今朝の山形新聞を見ると気になる記事があった。1つ目に新規就農者が苦しい経営をしているということ。2つ目に危険なバス停が県内には24カ所あり、降りてから横断歩道を渡る際の死角となりやすい箇所ようだ。3つ目にマイナンバーカードを保険証として利用できるようになるはずが、機械の不具合で先延ばしになった。庁舎ではこれらの話題について、どのくらい認識しているか。

産業建設課長 1つ目の新規就農者の件について、市では就農者を支援する学校としてSEEDSを作り受け入れしており、新規就農者との意見交換会もしている。その際、地域の農家との意見交換の場があって、アドバイスが受けられたのが一番良かったと言っていた。市では、国・県の補助を活用したものや市単独で機械の購入補助などがあるので、他市町村より充実しているのではと思う。地元で農家をしてもらいたいという事で、新規就農者へのサポートが手厚くなっているのでもう活用して頂きたい。そのほか、跡継ぎ就農についても手を差し伸べ支援していきたいので、何か困り事があれば産業建設課に知らせてもらいたい。

総務企画課長 2つ目の危険なバス停について、鶴岡市内の危険な箇所について把握していない。



朝日地域特有としては冬季に雪壁ができて危ないという事はあると思う。

市民福祉課長 3つ目のマイナンバーカードの保険証利用について、3月から一部医療機関で利用できる予定だったが、今朝の新聞でも掲載されたようにシステムの不具合で10月の実施に延期されたと思う。強制ではなく、医療機関で読取機械を導入すれば、資格確認が容易になるというもので、国保と社保に2重に加入している場合や社保から国保へ変更なったのに手続きしていなかったという事が防げる。ただ、マイナンバーカード自体の取得が進んでいない事や、医療機関での準備ができていない等なかなか進んでいない。荘内病院では予算化しているので、いずれ利用できるようになると思う。保険証はマイナンバーカードを使うようになって、そのまま利用することができる。

その他 なし

#### (4. その他)

総務企画課長 委員の任期について、2年となっており、令和3年3月31日をもって一度終了となる。それぞれの団体の中で、交代もあるかもしれないが、来年度以降も継続して頂けるようお願いする。

他に皆さまから何かございますか。

無ければ閉会のご挨拶を難波副会長にお願いしたいと思います。

副会長 委員の皆さん大変ご苦労様でした。それぞれ多様、多岐にわたってご意見を頂きありがとうございました。この意見をぜひ市政に活かして頂くよう祈念しまして今期最後の挨拶とします。お疲れ様でした。

(終了 15時35分)